

2013年10月24日

報道機関各位

第7回生物多様性協働フォーラム 開催のお知らせ

生物多様性協働フォーラム事務局(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)、及び京都府、京都市は、「第7回生物多様性協働フォーラム いのちにぎやか、文化ゆたか。～いのちと文化の共鳴をよみがえらせる～」を以下の通り開催します。

当日は、一般財団法人有斐斎弘道館 代表理事の濱崎加奈子氏、鳥獣画家の佐藤潤氏による講演、京都の文化と生物多様性保全につながる地域活動の紹介のほか、京都の文化と生物多様性をテーマに、パネルディスカッションが行われます。

また、フォーラムの開催と合わせて京都劇場内において、市民団体、企業博物館、大学等の20以上の団体から、京都の生物多様性・文化保全の取組を紹介するブースを出展いただきます。

1. 開催目的

本フォーラムは2011年度より関西各地で計6回開催されており、生物多様性と社会のかかわりについて、様々な角度から議論を重ねてきました。第7回を迎える今回は「自然と文化のつながり」に注目し、既存の枠組みを超えた新たな連携や、市民や企業の参画のあり方を意見交換し、京都から文化に関わる生物多様性の価値を発信します。また、会場内の出展ブースの取組紹介を通じて、京都における生物多様性・文化保全や持続的な利用に関わる団体、個人のネットワーク形成を促します。

2. 開催主体

主 催	生物多様性協働フォーラム事務局(三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社、兵庫県立人と自然の博物館、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク)
共 催	京都府、京都市
協 力	環境省、国際自然保護連合(IUCN)日本委員会、一般財団法人CEPA ジャパン、地球環境関西フォーラム、生物多様性かんさい、大阪市立自然史博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、京都大学生態学研究センター、徳島大学環境防災研究センター、京都府立大学、京都府立植物園、京都市動物園、株式会社サステナ、京都駅ビル開発、三菱東京 UFJ 銀行
後 援	公益社団法人関西経済連合会、関西広域連合、生物多様性民間参画パートナーシップ、京都水族館、KBS京都、-STATION、エフエム京都、京都新聞社、京都新聞 COM

3.開催概要

【テーマ】いのちにぎやか、文化ゆたか。～いのちと文化の共鳴をよみがえらせる～

日 時	2013年12月21日(土) 13時00分～17時15分 (11時30分開場)
会 場	京都劇場 (京都府京都市下京区烏丸通塩小路下る 京都駅ビル内)
参加費	無 料 (事前申込、定員600名、先着順、申し込み〆切 12月20日(金) 12時)
挨拶	山田 啓二(京都府知事) 門川 大作(京都市長)
講演	濱崎 加奈子(公益財団法人有斐斎弘道館館長/「連」代表) 「伝統文化と生物多様性～自然の恵みに支えられる京文化～」 佐藤 潤(鳥獣画家) 「絵画のなかの動物たち～花鳥画の魅力～」
事例報告	吉岡幸雄 (染司よしおか) 塩澤実 (茅葺屋代表) 杉本節子 (料理研究家) 久山喜久雄 (法然院森のセンター)
パネルディスカッション	「京文化を支える生物多様性の保全と活用に向けて」 【パネリスト】 深町加津枝(京都大学地球環境学堂 准教授) 湯本貴和(京都大学霊長類研究所 教授) 西田貴明(三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株) 副主任研究員/徳島大学環境防災研究センター 客員准教授) 吉岡幸雄、塩澤実、杉本節子、久山喜久雄(事例報告者) 【コーディネーター】 佐久間 大輔(大阪市立自然史博物館 主任学芸員)
挨拶	藤井 秀延(三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 取締役社長)

【お申し込み方法】

以下の web サイトのお申し込み専用ページよりお申し込みください。

お申し込み URL: <http://www.murc.jp/forum/BDC.html>

自社・団体の生物多様性に関する取り組みを紹介したパンフレット等を会場スペースで展示・配布していただけます。また、会場内には、保育ルームを準備しております(生後6か月以上対象)。ご希望の方は、参加申し込みの際に、それぞれ該当欄に記載ください(先着順12月13日(金)まで)。

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 政策研究事業本部(大阪) 研究開発第2部

西田 貴明、永井 克治

〒530-8213 大阪市北区梅田2-5-25 ハービス OSAKA19F

TEL 06-7637-1480 E-mail bio-kansai@murc.jp

【生物多様性協働フォーラム事務局】

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンク。東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、国内外のさまざまな分野の課題に対応できる多彩な人材を配し、総合的な視点から、コンサルティング、政策研究、国際関係業務、マクロ経済分析、教育研修など幅広い事業分野において多様なサービスを展開。同社の基幹業務を担う政策研究事業本部は、国や自治体等の政策立案支援等の機能を持ち、地域に密着した企業や行政との幅広いネットワークにより、ソリューションとコンサルティングを提供している。

URL : <http://www.murc.jp>

創立 : 1985年10月

資本金 : 20億6千万円

代表者 : 藤井 秀延 (取締役社長)

事業所 : [本社] 東京都港区虎ノ門五丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー

[名古屋] 名古屋市中区葵1-19-30 マザックアートプラザ

[大阪] 大阪市北区梅田二丁目5番25号 ハービス OSAKA

兵庫県立人と自然の博物館

愛称『ひととく』。貴重な資料標本と優れた研究者などが核となり、生涯学習に機能的に対応できる「人と自然の共生博物館」を目指す。地域の自然・環境情報の一元管理をすすめ、それらを活用した自然・環境に関する総合的なシンクタンク活動を組織的に実践しており、行政・企業などから生物多様性に関する研究を受託するなど、地方自治体、民間企業の生物多様性活動の支援も積極的な活動を展開している。

URL : <http://hitohaku.jp>

館長 : 中瀬 勲

所在地 : 兵庫県三田市弥生が丘六丁目

特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク

環瀬戸内地域(中国・四国地方)自然史系博物館ネットワーク推進協議会が NPO 法人化し、西日本自然史系博物館ネットワークと改称(2004年4月27日付けで認証)。21世紀の日本における自然史系博物館が社会に果たすべき役割の重要性と潜在的可能性を再認識し、自然史系博物館を活用した市民学習の支援、自然科学の振興、自然環境管理に必要な基礎情報の収集と研究、博物館と諸機関・諸団体との広汎な連携の構築といった諸課題を推進するとともに、併せてまちづくり、国際交流及び情報化社会の発展にも寄与することを目的として設立された。

URL : <http://www.naturemuseum.net/>

理事長 : 山西 良平 (大阪市立自然史博物館 館長)

事務所 : 大阪市東住吉区長居公園一丁目23番

【これまで開催したフォーラム】

第1回 2011年8月25日(木) 会場:兵庫県立人と自然の博物館(兵庫県三田市)

テーマ:企業・地方自治体をとらまく生物多様性の最新動向と事業インフラを活用した生物多様性
CSRの展開

第2回 2011年10月17日(月) 会場:大阪銀行協会(大阪府大阪市)

テーマ:企業の持続性を高める生物多様性の理解

第3回 2012年2月12日(日) 会場:兵庫県公館(兵庫県神戸市)

テーマ:社会の『つながり』を活かした取り組みの展開

第4回 2012年8月26日(日) 会場:徳島県教育会館(徳島県徳島市)

テーマ:『農・林・海』の場における生物多様性を維持・利活用し続けるためのしくみ

第5回 2012年11月11日(日) 会場:大阪市立自然史博物館(大阪府大阪市)

テーマ:グリーンビジネスでつなげる『都市生活』と『生物多様性』

第6回 2013年1月12日(土) 会場:ピアザ淡海(滋賀県大津市)

テーマ:共生のビジョンを広域的な視点から考える